

3年保健体育 (MYP 4 Physical & health education) 【保健体育：3単位】

科目のねらい

MYP保健体育の指導と学習のねらいでは生徒が以下のことができるように期待されています。

- ・探究学習を通して、保健体育の概念を研究する。
- ・様々な場面に効果的に参加する。
- ・身体活動（運動）の価値を理解する。
- ・健康的な生活（ライフスタイル）を維持する。
- ・効果的に他人と協力したり、コミュニケーションをとったりする。
- ・他人と建設的・肯定的な関係を構築し、社会的責任を示す。
- ・自身の学習経験を振り返る。

目標および評価基準

MYP 評価観点	
A：知識と理解	i. 「保健体育」に関する、事実的、手続き的、概念的知識を説明する。
	ii. なじみのある、あるいはなじみのない状況における複雑な問題を分析し、解決するために、「保健体育」の知識を応用する。
	iii. 理解を伝えるために、「保健体育」の専門用語を一貫的かつ効果的に応用する。
B：パフォーマンスに向けた計画	i. パフォーマンスの改善に向けた目標を作成する。
	ii. 身体能力と健康を改善するための計画を設計、説明し、その妥当性を示す。
C：応用と実践	i. 幅広いスキルと技術を効果的に示し、応用する。
	ii. 幅広い戦略や動きの概念を効果的に示し、応用する。
	iii. パフォーマンスに必要な情報を効果的に分析し、応用する。
D：パフォーマンスの振り返りと改善	i. 対人スキルを強化するための戦略を詳しく述べ、示す。
	ii. 計画の有効性を、その成果に基づき分析し、評価する。
	iii. パフォーマンスを分析し、評価する。

※ねらい・目標の記述は、IBO発行の「Physical Health and education guide」に基づいています。

関連概念（保健体育の学習を通して、生徒は以下の概念についても考えます）

適合	選択	バランス	エネルギー
環境	機能	交流・相互作用	動作
視点・観点	改良	スペース	システム

※目標と評価規準はMYP保健体育3のものを使用する。

年間計画

時期	ユニット	1. 重要概念 2. グローバルな文脈 3. ATL	学習内容・教材等	総括的評価課題のMYP評価観点（【】内） および課題概要と評価方法	1. 学習指導要領 観点との対応 2. 道徳内容項目 とのつながり
前期 (4月～9月)	1	1. Change(変化) 2. Orientation in space and time (空間と時間) 3. 振り返りスキル。批判 的思考スキル、情報リテ ラシースキル	A. 体づくりの運動 (ア. 体ほぐしの運動・イ. 体力を高める運動)	評価規準 A (個人・グループ) 体の構造や運動の原則も考慮しながら、 各種目の目的に適した準備運動を動画で 作成する。作成に用いた知識をまとめ、 作り上げた準備運動が適切であることを 説明する記述を評価する。 評価規準 B (個人) 準備運動を作成するにあたっての学習計 画を立てて、進捗や活動を分析・自己評	1. ①知識・技能-A ②学びに向かう 力-B ③思考・判断・表 現-D 2. C-15

				価しているかを評価する。 評価規準 D (個人) 成果物の評価基準に照らし合わせて、作 り上げた準備運動を詳細に振り返っている かを評価する。	
	2	1. Perspective(ものの見 方) 2. Scientific and technical innovation (科学的・技術的革新) 3. コミュニケーション スキル・協働スキル	C. 陸上競技 (ア. ハードル走 イ. 走り 高跳び) ※雨天時は走り高跳び H. 体育理論にかかわること	評価規準 B (個人) より良いハードリング動作となるよう に、自己の状況を分析し、効果的な目標の 設定と練習計画ができていないかを評価す る。 評価規準 C (個人) スムーズなハードリング動作ができてい るかを評価する。	1. ①知識・技能-C ②学びに向かう 力-B 2. A-5
	3	1. Communication(伝達) 2. Identities and relationships (アイデンティティと関 わり合い) 3. 協働スキル、創造的思 考スキル、情報リテラシ ースキル	E. 球技 (ア. ハンドボール) H. 体育理論にかかわること	評価規準 A (個人) ハンドボールの技術、行い方をまとめて いるかを評価する。 評価規準 D (個人) グループの戦術を評価し、レポートにま とめているかを評価する。	1. ①知識・技能 -A ②思考・判断・表 現-D 2. C-12
後期 (10月～3月)	4	1. Relationships(関係 性) 2. Identities and relationships (アイデンティティと関 わり合い) 3. コミュニケーション スキル・協働スキル・整理 整頓スキル・振り返り スキル・創造的思考スキル	F. 武道 (ア. 柔道) H. 体育理論にかかわること	評価規準 C(個人・2人組み) 柔道のルールや基本動作に関する項目を 整理し、解説書を作る。 自己や相手の身を守る方法を知り、実践 する。立ち技の実技試験を行う。 評価基準 D 自分の解説書を評価し、レポートにまと めているかを評価する。	1. ①知識・技能 -C ②思考・判断・表 現-D 2. B-7
	5	1. Relationships(関係 性) 2. Personal and culture expression (個人的・文化的表現) 3. 整理整頓スキル・協 働スキル・情動スキル	G. ダンス (ア. 創作ダンス) H. 体育理論にかかわること	評価規準 B (個人) より良い創作ダンスとなるように学習計 画を立て、効果的な目標の設定と練習計 画ができていないかを評価する。また、自 己の計画を的確に振り返っているかを評 価する。 評価規準 C (グループ・個人) テーマにふさわしい作品をつくり、まと め、表現しているかを評価する。	1. ①知識・技能 -C ②学びに向かう 力-B 2. C-15
	Unit 外	1. Communication(伝達) 2. Orientation in space and time (空間と時間) 3. 協働スキル、批判的 思考スキル	E. 球技 (イ. バレーボール) H. 体育理論にかかわること		2. A-3
通年	6	1. Communication (関係 性) 2. Globalization and sustainability (グローバル化と持続可 能性) 3. コミュニケーション スキル、情動スキル	H. 保健・体育理論	評価規準 A (個人) 「筆記テスト」保健で得た知識をいろ ろな形式で表現し、学んだ知識を筆記テ ストでアウトプットする。	1. ①知識・技能-A 2. A-2 C-11、C-18